

記入例

土 砂 搬 入 申 込 書

〔新規〕／第 〇 回変更（土量増、工期延伸 承認番号 _____）〕

（株）建設資源広域利用センター 御中

・工事請負者・代表者等を記入、会社印を押印してください。
 ・スタンプタイプ等の簡易印鑑の押印不可。
 ・JVの場合は「〇〇・△△建設共同企業体 代表者 〇〇建設株式会社横浜支店長 〇〇××」のように記載、代表会社の会社印を押印してください。

所 東京都渋谷区渋谷2-17-5
 法人名 首都圏建設株式会社
 代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎 印

次の
なお
見され

先の品質基準に適合しないものの混入が発

搬入先（受入地名）	横浜鈴繁埠頭		小数点第3位以下を四捨五入して下さい。
発注機関	広域町水道建設事務所		
工事名	平成29年水23号 広域町水道送水管敷設工事		
工事場所	神奈川県広域郡広域町大字利用		
契約工期	当初・変更前	平成29年6月1日	～ 平成30年2月15日
	変更後	〃	～ 年 月 日
搬入申込土量 （地山）	当初・変更前	2,000.00 m ³	差引増 m ³
	変更後		m ³
土質	第3種建設発生土 （ローム）	平均単位体積重量 （地山）	1.8 t/m ³
	<input type="checkbox"/> 工場・病院跡地など汚染の恐れがある地域 <input type="checkbox"/> 法令に基づく届け出、調査を行った地域 <input checked="" type="checkbox"/> 上記項目には該当しない地域		
工事請負者担当者（氏名）建設 次郎 （電話）000-000-0000（携帯）000-0000-0000（FAX）000-000-0000			

チェックを忘れずに

上記のとおり相違ないことを申し添えます。

発注機関（所属）	広域町水道建設事務所	〇〇課
監督員（氏名）	上水道男	印
（電話）	000-000-0000	（FAX）000-000-0000

・所属課名を記入して下さい。
 ・監督員の印はスタンプタイプ等の簡易印鑑は避けてください。

- 注意
- 1) 承諾番号は変更の場合のみご記入ください。
 - 2) 平均単位体積重量（地山）は1.8 t/m³とします。これより大きい値となる場合は根拠資料を用意のうえご相談ください。
 - 3) 汚染要因となる環境項目への該当は該当箇所にチェックマークをご記入ください。
 - 4) 発注機関監督員の印は発注元が公共機関（国、地方公共団体、それらの関係機関）の場合は必ず記入・押印してください。
- ※ 添付書類はUCR受入地利用案内及びHP掲載の提出書類一覧表にてご確認ください。

承認番号	受付番号	第 〇 号
------	------	-------

備考	承認印	年 月 日
----	-----	-------

記入例

平成〇〇年〇〇月〇〇日

土 砂 搬 入 計 画 表

1 工 事 名 平成29年水23号 広域町水道送水管敷設工事

2 工事請負者 首都圏建設株式会社

搬入完了予定日は、契約工期以降に設定することはできません。

3 土砂搬入予定期間 平成29年 7月 4日 ~ 平成29年11月 8日

4 搬入申込土量 2,000.00 m³、ダンプ総台数 361台 (10t車)

5 搬入予定

- ・各月の土量は5.55 m³ (10t車、1.8t/m³の場合)の倍数とし、最終搬出月に調整してください。
- ・搬出がない月が間にある場合は詰めて記載してください。
- ・ダンプの積載量毎(10t、4t、…)に表を作成してください。

① 29年7月分 土量 421.80 m³/月、平均土量 22.20 m³/日、ダンプ延 4台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
			○	○	○	○				○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○				○

② 29年8月分 土量 355.20 m³/月、平均土量 22.20 m³/日、ダンプ延 4台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
○	○	○	○				○	○	○											○	○	○	○	○			○	○	○	○

③ 29年9月分 土量 444.00 m³/月、平均土量 22.20 m³/日、ダンプ延 4台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
○			○	○	○	○	○				○	○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○	○

④ 29年10月分 土量 666.00 m³/月、平均土量 33.30 m³/日、ダンプ延 6台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	○	○	○	○	○				○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	

⑤ 29年11月分 土量 113.00 m³/月、平均土量 22.20 m³/日、ダンプ延 4台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
○	○					○	○	○																					

⑥ 年 月分 土量 m³/月、平均土量 m³/日、ダンプ延 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9

- ・各月のダンプの延台数を足したものがダンプ総台数になるようにしてください。
- ・各月の土量の合計が搬入申込土量になるようにしてください。
- ・日当たりダンプ延台数×積載土量＝日当たり平均土量
- ・日当たり平均土量×月当たり稼働(作業)日数＝月当たり土量

発券を分割で申請する場合のみ提出してください。

記入例

平成〇〇年〇〇月〇〇日

分割発券申請予定表

1 工事名 平成29年水23号 広域町水道送水管敷設工事

2 工事請負者 首都圏建設株式会社

3 搬入申込土量 2,000.00 m³

4 分割申請回数及び発券土量等

申請回数	申請予定日	券種	発券枚数 (b)	積載土量 (c)	発券土量 (b) × (c)	発券土量の合計 () は累計土量
第 1 回	6 月 2 2 日	10 t 車券 t 車券 t 車券	217 枚 枚 枚	5.55 m ³ m ³ m ³	1,204.35 m ³ m ³ m ³	1,204.35 m ³
第 2 回	8 月 1 5 日	10 t 車券 t 車券 t 車券	144 枚 枚 枚	5.55 m ³ m ³ m ³	799.20 m ³ m ³ m ³	799.20 m ³ (2,003.55 m ³)
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m ³ m ³ m ³	m ³ m ³ m ³	(m ³)
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m ³ m ³ m ³	m ³ m ³ m ³	(m ³)
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m ³ m ³ m ³	m ³ m ³ m ³	(m ³)
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m ³ m ³ m ³	m ³ m ³ m ³	(m ³)
合計		10 t 車券 t 車券 t 車券	361 枚 枚 枚	5.55 m ³ m ³ m ³	2,003.55 m ³ m ³ m ³	2,003.55 m ³

注意

1) 当書類は発券を分割で申請する場合にのみご提出ください。発券申請はその都度別途行ってください。

2) 積載土量（地山）は使用車輛のトン数を平均単位体積重量で除し、小数第1位を四捨五入します。

(例) 平均単位体積重量が1.8 t / m³の場合 10 t 車…5.55 m³、4 t 車…2.22 m³、

搬入申込土量 ÷ 積載土量
(端数切上)

記入例

平成〇〇年〇〇月〇〇日

発券申請書（~~第一回~~）


〔承諾番号 _____〕

- ・工事請負者・代表者等を記入、会社印を押印してください。
- ・スタンプタイプ等の簡易印鑑の押印不可。
- ・JVの場合は「〇〇・△△建設共同企業体 代表者 〇〇建設株式会社横浜支店長 〇〇××」のように記載、代表会社の会社印を押印してください。

(株) 〇〇建設資源広域利用センター 御中

工事請負者 住所 東京都渋谷区渋谷2-17-5

パターン1：一括発券（支払）申請の場合
 搬入申込土量÷積載土量=発券枚数（端数切上）
 $2,000 \text{ m}^3 \div 5.55 = 360.3 \Rightarrow 361 \text{ 枚}$
 パターン2：分割発券（支払）申請の場合
 分割発券申請予定表より算出してください。
 ※ この例は分割発券（支払）です。

法人名 首都圏建設株式会社
 代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎 

搬入先（受入地名）	横浜鈴繁埠頭				
発注機関	広域町水道建設事務所				
工事名	平成29年水23号 広域町水道送水管敷設工事				
搬入申込土量	2,000.00 m ³				
既発券土量	0 m ³ (a)				
今回発券枚数 及び発券土量	券種	発券枚数 (b)	積載土量 (c)	発券土量 (b) × (c)	発券土量の合計 (d)
	10t車券	217枚	5.55 m ³	1,204.35 m ³	1,204.35 m ³
	t車券	枚	m ³	m ³	
	t車券	枚	m ³	m ³	
受入単価	昼 / 夜		(地山 1 m ³ あたり)		3,500 円
支払予定日及び支払金額	6月22日		(税込)		4,552,443 円
累計発券土量	1,204.35 m ³ (a) + (d)				
受入地通行証必要枚数	10 枚				
備考欄					
工事請負者担当者（氏名）建設 次郎 （電話）000-000-0000（携帯）000-0000-0000 入金案内及び券送付先（FAX）000-000-0000（宛名）首都圏建設(株)〇〇作業所 （郵便番号）123-0045 （住所）〇〇県〇〇市〇〇123					

注意

- 承諾番号は第2回目以降の発券申請の際に記入してください。
- 積載土量（地山）は使用車輛のトン数に引換算した数量とします。
 (例) 平均単位体積重量が1.8 t/m³の場合 10t車…5.55 m³、4t車…2.22 m³、3t車…1.66 m³、2t車…1.11 m³

発券土量の合計 × 受入単価 = A (1円未満切捨て)
 A × 1.08 (消費税) = 支払金額 (1円未満切捨て)

※ 添付書類はUCR受入地利用案内及びHP掲載の提出書類一覧表にてご確認ください。

この様式を使用する受入地
「大磯町大磯港」「横浜鈴繁埠頭」
「厚木市飯山（Ⅱ）」

記入例

第四号様式（第四条第二項第十二号及び第五項第四号、第八条第三項並びに第十二条第一項第二号及び第二項）

地質分析（濃度）結果証明書

年 月 日

様

発生事業者名と一致
していること

発行番号、検体区分・番号が入
っていることを確認してください。

発行番号

分析機関名

代表者

印

計量証明事業者の登録番号

環境計量士

印

年 月 日に依頼のあった検体について、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により
検液を作成し、計量した結果を次のとおり証明します。（検体区分・番号）

計測項目	単位	定量 下限値	基準値	測定方法	
カドミウム	mg/l		0.01	日本工業規格 K0102 55	
全シアン	mg/l		不検出	日本工業規格 K0102 38（38.1.1の方法を除く）	
有機燐	mg/l		不検出	昭和49.環告第64号付表1 日本工業規格 K0102 31.1のガスクロマトグラフ法以外のもの	
鉛	mg/l		0.01	日本工業規格 K0102 54	
六価クロム	mg/l		0.05	日本工業規格 K0102 65.2	
砒（ひ）素	mg/l		0.01	日本工業規格 K0102 61	
総水銀	mg/l		0.0005	昭和46.環告第59号付表1	
アルキル水銀	mg/l		不検出	昭和46.環告第59号付表2、昭和49.環告第64号付表3	
P C B	mg/l		不検出	昭和46.環告第59号付表3	
ジクロロメタン	mg/l		0.02	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2	
四塩化炭素	mg/l		0.002	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5	
クロロエチレン	mg/l		0.002	平成9.環告第10号付表	
1,2-ジクロロエタン	mg/l		0.004	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.3.2	
1,1-ジクロロエチレン	mg/l		0.1	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l		0.04	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l		1	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l		0.006	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5	
トリクロロエチレン	mg/l		0.03	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5	
テトラクロロエチレン	mg/l		0.01	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5	
1,3-ジクロロプロパン	mg/l		0.002	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1	
チウラム	mg/l		0.006	昭和46.環告第59号付表4	
シマジン	mg/l		0.003	昭和46.環告第59号付表5 第1、第2	
チオベンカルブ	mg/l		0.02	昭和46.環告第59号付表5 第1、第2	
ベンゼン	mg/l		0.01	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2	
セレン	mg/l		0.01	日本工業規格 K0102 67.2、67.3、67.4	
ふっ素	mg/l		0.8		
ほう素	mg/l		1		
1,4-ジオキサン	mg/l		0.05		
農用地田 に限る	砒素	mg/kg	15	昭和50.総令第31号第1条第3項及び第2条	含有 試験
	銅	mg/kg	125	昭和47.総令第66号第1条第3項及び第2条	
検体の性状	形状		色	におい	
備考	発生場所： 発生事業者名：		工事名：	土砂等発生元証明書の記載と同 一にしてください。	

依頼日は試料採取日
または翌日

厚木市飯山（Ⅱ）は1,4-ジオキサン不要のため、
「 - 」を記載

* 計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合の当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び
事業者の所在地：

提出が必要な受入地
「大磯町大磯港」、「横浜鈴繁埠頭」
「厚木市飯山（Ⅱ）」

記入例

第九号様式（第八条第二項）

土砂等発生元証明書

特定事業者名 _____ 年 _____ 月 _____ 日
様

記入しないでください。

- ・工事請負者・代表者等を記入、会社印を押印してください。
- ・スタンプタイプ等の簡易印鑑の押印不可。
- ・JVの場合は「〇〇・△△建設共同企業体 代表者 〇〇建設株式会社横浜支店長 〇〇××」のように記載、代表会社の会社印を押印してください。

発生元事業者
住所 東京都渋谷区渋谷 2-17-5
事業者名 首都圏建設株式会社
代表者又は現場責任者 代表取締役 首都圏 太郎 (印)
担当者 建設 次郎
電話番号(携帯) 〇〇〇-●●●●-△△△△

担当者名及び携帯等直接連絡可能な電話番号を記入してください。

工事現場から発生し、

「地質分析（濃度）結果証明書」の備考欄の記載と一致させてください。

なお、これらの土砂等は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和35年法律第137号）第2条第1項に規定する廃棄物ではありません。

工事名	平成29年水25号 広域町水道送水管敷設工事
工事施工場所	神奈川県広域郡広域町大宮利馬 契約工期を記入してください。
当該工事での土砂発生総量 (工事全体の土量)	広域町水道建設事務所 平成29年6月1日～平成30年2月15日 記入しないでください。
当該工事に係る土砂等発生総量	7,000.00 m ³ (うち搬出契約量 m ³)
今回の証明に係る土砂等の量	2,000.00 m ³ (5,000 m ³ 以内)
発生土砂等の地質分析 (濃度)結果証明書の有無	有・無 別紙のとおり 今回の証明に関し、搬入する土量(別途土量計算必要)
発生土砂等の区分	第三種建設発生土
発生土砂等運搬契約者名	住所 広域町中央1-2 氏名 (株)資源工業 住所 _____ 氏名 住所 _____ 氏名 住所 _____ 氏名 下の行は記入しないでください。
発生土砂等埋立事業者名	(一時たい積特定事業場) 住所 _____ 氏名 (埋立て等の事業場) 住所 _____ 氏名 記入しないでください。

注 発生土砂等の区分の欄には、建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令別表第1に規定する区分を記載すること。

提出が必要な受入地
「大磯町大磯港」、「横浜鈴繁埠頭」
「厚木市飯山（Ⅱ）」

記入例

第三号様式（第四条第二項第十二号及び第五項第四号、第八条第三項並びに第十二条第一項第二号及び第三号並びに第二項）

検査試料採取調書

年 月 日

採取者

住 所

所 属

職氏名

印

採取された方の所属、氏名、連絡先を記入し、押印してください。（採取者は工事請負業者、分析機関のいずれでも可）

連絡先電話

別添地質分析（濃度）結果証明書（排水汚染状況測定（濃度）結果証明書）の検査試料を次のとおり採取しました。

検体区分及び番号	123456-A	「地質分析（濃度）結果証明書」の検体区分・番号を転記してください。
報告区分	地質（表土・ 搬入 ・定期・廃止・完了・終了） 排水（定期・廃止・完了・終了）	
採取年月日	平成29年6月12日	原則として、採取日の翌日までに分析機関に依頼してください。
採取日の天候	晴れ	
地質分析の場合の採取深度	GL-0.5m, GL-1.5m, GL-2.5m, GL-3.5m, GL-4.5m	

注 検体区分の欄には、この調書に係る地質分析（濃度）結果証明書、排水汚染状況測定（濃度）結果証明書に記載された番号等を記載すること。

工期延伸や土量増の時に提出が必要な受入地
「横浜鈴繁埠頭」「大磯町大磯港」

土量増の 場合の記入例

工期延伸の場合の記入について；
表題を「工期の変更に伴う証明書」とし、変更
(延伸)となる理由を記載してください。

平成 年 月 日

発生土量の変更に伴う証明書

工 事 名： 平成 2 9 年 水 2 3 号 広域町水道送水管敷設工事

路線・河川・区域名：

工 事 場 所： 神奈川県広域郡広域町大字利用

上記の工事について、 工事延長の増等 の理由から、発生土量を $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\text{m}^3$ から $\Delta\Delta\Delta\text{m}^3$ に変更したことに相違ありません。

発注機関（所属・役職）

所 属 広域町水道建設事務所

・発注機関担当者印はスタ
ンプタイプ等の簡易印鑑
の押印不可。

担当者名 上水 道男

印

発生元事業者

・工事請負者・代表者等を記入、会社印を押
印してください。
・スタンプタイプ等の簡易印鑑の押印不可。
・JVの場合は「 $\bigcirc\bigcirc\cdot\Delta\Delta$ 建設共同企業
体 代表者 $\bigcirc\bigcirc$ 建設株式会社横浜支
店長 $\bigcirc\bigcirc\times\times$ 」のように記載、代表会
社の会社印を押印してください。

者名 首都圏建設株式会社

者名 代表取締役 首都圏 太郎

印

**土量増の場合の
記入例 1/2**

記入例

平成〇〇年〇〇月〇〇日

土砂搬入申込書

〔新規／第 1 回変更（土量増）工期延伸 承認番号 H 2 9 - 9 9 - 1 2 3 4〕

(株) 建設資源広域利用センター 御中

工事請負者 住所 東京都渋谷区渋谷2-17-5

法人名 首都圏建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎 (印)

次のとおり建設発生土の搬入を申し込みます。

なお、搬入中及び搬入後の土砂の中に受け入れ先の品質基準に適合しないものの混入が発見された場合は速やかに撤去します。

搬入先（受入地名）	横浜鈴繁埠頭			①増量後の土量を記入します。
発注機関	広域町水道建設事務所			
工事名	平成29年水23号 広域町水道送水管敷設工事			
工事場所	神奈川県広域郡広域町大字利用			
契約工期	当初・変更前	平成29年6月1日	～	平成30年2月15日
	変更後	〃		年月日
搬入申込土量 (地山)	当初・変更前	2,000.00 m ³	変更後	3,000.00 m ³
			差引増	1,000.00 m ³
土質	第3種建設発生土 (ローム)	平均単位体積重量 (地山)	1.8 t/m ³	
	汚染要因となる 環境項目への該当	<input type="checkbox"/> 工場・病院跡地など汚染の恐れがある地域 <input type="checkbox"/> 法令に基づく届け出、調査を行った地域 <input checked="" type="checkbox"/> 上記項目には該当しない地域		
工事請負者担当者（氏名）	建設 次郎 (電話) 000-000-0000 (携帯) 000-0000-0000 (FAX) 000-000-0000			

上記のとおり相違ないことを申し添えます。

発注機関（所属） 広域町水道建設事務所 〇〇課

監督員（氏名） 上水道男 (印)

(電話) 000-000-0000 (FAX) 000-000-0000

注意

- 1) 承諾番号は変更の場合のみご記入ください。
 - 2) 平均単位体積重量（地山）は1.8 t/m³とします。これより大きい値となる場合は根拠資料を用意のうえご相談ください。
 - 3) 汚染要因となる環境項目への該当は該当箇所にチェックマークをご記入ください。
 - 4) 発注機関監督員の印は発注元が公共機関（国、地方公共団体、それらの関係機関）の場合は必ず記入・押印してください。
- ※ 添付書類はUCR受入地利用案内及びHP掲載の提出書類一覧表にてご確認ください。

承認番号		受付番号	第 号
------	--	------	-----

備考		承認印	年 月 日

**土量増の場合の
記入例 2/2**

記入例

平成〇〇年〇〇月〇〇日

発券申請書（第3回）

[承認番号 H29-99-1234]

(株) 建設資源広域利用センター 御中

土量増変更時、①②③④の手順で
今回発券枚数の算出を行ってくだ
さい。

② 「土砂搬入申込書」の変更後の土量を
転記してください。
(増量分も含めた変更後の申込土量)

住所 **東京都**
法人名 **首都圏建設株式会社**
代表者職氏名 **代表取締役 首都圏 太郎** 印

③ 発券済土量（券換算）

④ (搬入申込土量 - 既発券土量) ÷ 積載土量 = 発券枚数
(端数切上)
この場合 (3,000 m³ - 2,003.55 m³) ÷ 5.55 m³ = 179.5 ⇒ 180 枚
となります。

搬入先（受入地名）	横浜鈴繁				
発注機関	広域町水				
工事名	平成29				
搬入申込土量	3,000.00 m ³				
既発券土量	2,003.55 m ³ (a)				
今回発券枚数 及び発券土量	券種	発券枚数 (b)	積載土量 (c)	発券土量 (b) × (c)	発券土量の合計 (d)
	10t車券	180枚	5.55 m ³	999.00 m ³	999.00 m ³
	t車券		m ³	m ³	
t車券	m ³		m ³		
受入単価	昼 / 夜	(地山 1 m ³ 当たり)			3,500 円
支払予定日及び支払金額	9月8日	(税込)			3,776,220 円
累計発券土量	3,002.55 m ³ (a) + (d)				
受入地通行証必要枚数	3 枚				
備考欄					
工事請負者担当者（氏名）建設 次郎 （電話）000-000-0000（携帯）000-0000-0000 入金案送付先（FAX）000-000-0000（宛名）首都圏建設(株)〇〇作業所					

注意

追加で必要な場合のみ記入ください。

既発券土量 + 今回発券土量の合計 = 累計発券土量

量とします。
(例) 平均単位体積重量が1.8 t/m³の場合 10t車...

発券土量の合計 × 受入単価 = A (1円未満切捨て)
A × 1.08 (消費税) = 支払金額 (1円未満切捨て)

※ 添付書類はUCR受入地利用案内及びHP掲載の提出書類一覧表にてご確認ください。

承認番号		受付番号	第 号
備考		承認印	年 月 日

申込土量より搬入土量が少ない場合は、必ず提出してください。

- ・未使用券がある場合
- ・設計変更により搬入土量が減となった場合

記入例

平成〇〇年〇〇月〇〇日

入完了精算書

- ・工事請負者・代表者等を記入、会社印を押印してください。
- ・スタンプタイプ等の簡易印鑑の押印不可。
- ・JVの場合は「〇〇・△△建設共同企業体 代表者 〇〇建設株式会社横浜支店長 〇〇××」のように記載、代表会社の会社印を押印してください。

号 H 2 9 - 9 9 - 1 2 3 4]

中

工事請負者 住所 東京都渋谷区渋谷2-17-5
 法人名 首都圏建設株式会社
 代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎 (印)

使用枚数 + 返却券枚数 = 発券枚数となります。

搬入申込土量を下回ったので届け出ます。

搬入元（支店名）	横浜鈴繫埠頭				
発注機関	広域町水道建設事務所				
工事名	平成29年水23号 広域町水道送水管敷設工事				
搬入申込土量	3,000.00 m ³				
搬入完了土量 (券換算)	券種	使用枚数	積載土量	搬入土量	搬入土量の合計
	10 t 車券	519枚	5.55 m ³	2,880.45 m ³	2,880.45 m ³
	t 車券	枚	m ³	m ³	
	t 車券	枚	m ³	m ³	

上記に伴う受入料金の還付を下記のとおり申請します。

未使用返却券枚数 及び 返却券土量	券種	返却券枚数	積載土量	返却券土量	返却券土量の合計
	10 t 車券	22枚	5.55 m ³	122.10 m ³	122.10 m ³
	t 車券	枚	m ³	m ³	
t 車券	枚	m ³	m ³		

受入単価 (昼) / 夜 (地山 1 m³ 当たり) 3,500 円

還付金額 (税込) 461,538 円

還付先	金融機関・支店名	口座名義人（フリガナ）	科目	口座番号			
	〇〇 銀行 〇〇 支店	(シュトケンセツカブシカイヤ) 首都圏建設株式会社	当座・普通	〇	〇	〇	〇

備考欄

工事請負者担当者（氏名） 建設 次郎 （携帯） 000-0000-0000
 （電話） 000-000-0000 （FAX） 000-000-0000

返却券土量の合計 × 受入単価 = A (1円未満切捨て)
 A × 1.08 (消費税) = 還付金額 (1円未満切捨て)

上記のとおり相違ないことを申し添えます

発注機関（所属） 広域町水道建設事務所 〇〇課
 監督員（氏名） 上水 道男 (印)
 （電話） 000-000-0000 （FAX） 000-000-0000

- ・所属課名を記入して下さい。
- ・監督員の印はスタンプタイプ等の簡易印鑑は避けてください。

注意 1) 備考欄は工事請負者と払戻先口座名義人が異なるとき、双方の関係を

承認番号	受付番号
------	------

備考	承認印	年 月 日
----	-----	-------

記入例

年 月 日

土砂搬入完了届

[承認番号 H 2 9 - 9 9 - 1 2 3 4]

(株) 建設資源広域利用センター 御中

<p>工事請負者 住所 東京都渋谷区渋谷2-17-5</p> <p>法人名 首都圏建設株式会社</p> <p>代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎</p> <p>現場代理人 氏名 建設 次郎 (印)</p>	・工事請負者・代表者等を記入、会社印を押印してください。(会社印については現場代理人名・押印に代えられます。)
	・スタンプタイプ等の簡易印鑑の押印不可。
	・JVの場合は「〇〇・△△建設共同企業体 代表者 〇〇建設株式会社横浜支店長 〇〇××」のように記載、代表会社の会社印を押印してください。

次のとおり搬入申込土量全量の搬入が完了したので届け出ます。

搬入先(受入地名)	横浜鈴繁埠頭
発注機関	広域町水道建設事務所
工事名	平成29年水23号 広域町水道送水管敷設工事
搬入申込土量	3,000.00 m ³
搬入完了土量	上記搬入申込土量のとおり
備考欄	
工事請負者担当者(氏名) 建設 次郎 (携帯) 000-0000-0000 (電話) 000-000-0000 (FAX) 000-000-0000	

注意

1) 土量は、横須賀市久里浜港はほぐし土量、それ以外の受入地は地山土量とします。

※ 土砂搬入完了精算書や土砂搬入完了確認依頼書を提出する場合は当書類(土砂搬入完了届)の提出は不要です。

UCRからの「土砂搬入完了確認書」が必要な場合に提出してください。

記入例

29年11月 8日

土砂搬入完了確認依頼書

[承認番号 H29-99-1234]

(株) 建設資源広域利用センター 御中

工事請負者 住所 東京都渋谷区渋谷2-17-5
法人名 首都圏建設株式会社
代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎[Ⓜ]

- ・工事請負者・代表者等を記入、会社印を押印してください。
- ・スタンプタイプ等の簡易印鑑の押印不可。
- ・JVの場合は「〇〇・△△建設共同企業体 代表者 〇〇建設株式会社横浜支店長 〇〇××」のように記載、代表会社の会社印を押印してください。

次のとおり建設発生土の搬入を完了したので確認書の発行を依頼します。

搬入先(受入地名)	横浜鈴繁埠頭				
発注機関	広域町水道建設事務所				
工事名	平成29年水23号 広域町水道送水管敷設工事				
工事場所	神奈川県広域郡広域町大字利用				
搬入申込土量	3,000.00 m ³				
搬入完了土量 (券換算)	券種	使用枚数	積載土量	搬入土量	搬入土量の合計
	10t車券	519枚	5.55 m ³	2,880.45 m ³	2,880.45 m ³
	t車券	枚	m ³	m ³	
t車券	枚	m ³	m ³		
土砂搬入開始日	平成29年 7月 3日				
土砂搬入完了日	平成29年11月 6日				
工事請負者担当者(氏名)	建設 次郎		(電話)	000-000-0000 (FAX) 000-000-0000	
完了確認書送付先(宛名)	首都圏建設(株)〇〇作業所				
	(郵便番号)	123-0045	(住所)	〇〇県〇〇市〇〇123	

注意

- 1) 土量は、横須賀市久里浜港はほぐし土量、それ以外の受入地は地山土量とします。
- 2) 土砂搬入完了確認書の発行を希望する場合は必ず当書類を提出してください。

記入例

平成 年 月 日

仮置場使用確認書

- ・工事請負者・代表者等を記入、会社印を押印してください。
- ・スタンプタイプ等の簡易印鑑の押印不可。
- ・JVの場合は「〇〇・△△建設共同企業体 代表者 〇〇建設株式会社横浜支店長 〇〇××」のように記載、代表会社の会社印を押印してください。

住所 東京都渋谷区渋谷 2-17-5
法人名 首都圏建設株式会社
代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎 (印)
電話 000-0000-0000

当工事において発生した土砂を下記の仮置場に仮置後、横浜鈴繫埠頭受入地へ搬入いたします。なお、仮置期間中は、他の工事より発生した土砂が混入することの無いよう適正に管理いたします。

工事名	平成29年水23号 広域町水道送水管敷設工事		
発注機関	広域町水道建設事務所		
契約工期	平成29年6月1日 ~ 平成30年2月15日		
工事場所	神奈川県広域郡広域町大字利用		
仮置土量	1,000.00	m ³	
仮置予定期間	平成29年7月3日~平成29年11月6日 ※土砂の仮置期間を記入してください。		
仮置場	住所	広域町大字利用123	
	名称	〇〇建設資材置場 または 工所用借地等	

上記の記載事項については、相違ないことを確認しました。

発注機関 (所属)	広域町水道建設事務所	(氏名)	上水 道男 (印)
--------------	------------	------	-----------

添付書類（案内図、平面図、現地写真）平面図には置場及び寸法を明記すること

見 本

平成 28 年 11 月 10 日

土砂搬入完了確認書

首都圏建設株式会社 御中

株式会社 建設資源広域利用センター

次の工事のUCR受入地への土砂の搬入は、下記のとおり完了したことを確認します。

- UCR承諾番号 神-123456号
- 発注機関 広域町水道建設事務所
- 工事名 平成29年水23号 広域町水道送水管敷設工事
- 工事場所 神奈川県広域郡広域町大字利用

記

搬入受入地	横浜鈴繁埠頭		
搬入土量	申込土量	3,000.00	m ³
	完了土量(券換算)	2,880.45	m ³

土砂搬入期間 自 平成29年7月3日 至 平成29年11月6日